

APSI法に対応

断面欠損対策でメニュー拡充

マルダイ

マルダイ（静岡県、深沢裕一郎社長）は、開始することを明らかにした。

プレカット事業強化の一環で、7月中旬にAPSI工法（アップルピンシステムズ工法／ティ・カトウ）への対応を固定する工法。在来工

法に比べ断面欠損が少なく、既存の金物工法に比べて低コストなのが特徴。

APSI工法は、在来仕口を残したまま専用ピン（アップルピン）とドリフトピンだけで固定する工法。在来工

法に比べ断面欠損が少なく、既存の金物工法に比べて低コストなのが特徴。

同社は、さきごろ改訂された「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」（通称「グレー本」）で低減率の計算が厳格化され断面欠損対策が重要になったことから、メニューを拡充して新規ユーザーに対応するとしている。なお同社では4月末に、全建連が推進している超長期先導的モデル住宅の供給にあわせてHOWTEC（日本住宅・木材技術センター）のZマーク認定梁受け金物への対応を発表済み。今後、2つの新工法について、加工ラインの追加投資とCADの更新を行う。